

会 議 録

1 会議名

平成29年度第4回有田区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【協議事項】

平成30年度地域活動支援事業について（公開）

3 開催日時

平成29年12月4日（月）午後1時30分から午後2時10分

4 開催場所

上越市カルチャーセンター 研修室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 熊木敏夫（会長）、秋山千恵子（副会長）、青木ユキ子（副会長）、
飯塚徳雄、市川 禅、牛木幸一、大原久雄、樺沢早苗、栗間良子、
高橋邦夫、高橋秀樹、中川 清、野島賢一、山崎栄一（欠席2名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：滝澤センター長、荒木係長、千田主事

8 発言の内容

【滝澤センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【熊木会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：中川委員、野島委員に依頼

【滝澤センター長】

議題に入る前に事務局より11月21日（火）に開催された会長会議の内容について

報告させていただく。

- ・参考資料①「地域協議会会長会議」に基づき説明

【熊木会長】

当日は、「自主的審議の活性化に向けた意見交換」という非常に大きなテーマで、意見集約ができる話し合いにはならなかったもので、できれば予め課題を出していただき、意見集約をしたほうが良かったのではないかと感じた。

会長会議について、皆さんから何かあるか。

【中川委員】

資料②の各区の自主的審議事項の取組状況の中に「検討中」となっている区があるが、これはどういうことか。

【滝澤センター長】

前年度から各区で町内会長や各団体の方と意見交換を行っているが、検討中となっている区は、地域等から出ている課題について自主的審議事項として取り扱っていくかを検討している段階ということである。

【熊木会長】

では、議題に入る。**【協議事項】**平成30年度地域活動支援事業について、事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

地域活動支援事業については、今年度と同様の内容で実施されることを前提として有田区でも採択方針等の協議を進めて行きたいと考えている。

採択方針等の具体的な決定については次回以降に協議することとし、本日は配布した資料を参考に、どのような事業が有田区の活性化に繋がるか、御意見をいただきたい。

- ・参考資料②「平成29年度地域活動支援事業 有田区の採択方針等について（確定版）」に基づき説明

【滝澤センター長】

補足説明させていただく。採択方針等については次回以降に決定することとし、本日はその前段として話し合いをしていただきたい。

参考資料②にある「優先的に採択する事業の分野」については、当初から変わっていない。

有田区の地域活動支援事業の特徴としては、非常に継続事業が多く、提案団体も固定

化しているのではないかと感じている。新しい事業のきっかけとなるような情報を集めていきたいと思っているので、委員の皆さんからも地域で積極的に声掛けをしていただきたい。

そして例年、追加募集も行っているが、最初の募集で多数の事業が提案されるよう、事務局でもPR方法等を検討している。

本日は、次年度の募集等に向け、皆様からいろいろな意見をいただきたい。

【熊木会長】

採択方針については、次回以降に決めるということだが、事務局から説明があったように、例年似たような事業が提案される傾向にあると思う。

資料は本日配布されたので、すぐに意見は出ないと思う。資料の内容を精査し、地域の課題等も併せて考えていただく中で、地域活動支援事業への提案について、地域の活動団体に声掛けをしながらサポートできれば良いと思っている。

【高橋秀樹委員】

参考資料③を見ると、22年から25年まで地域活動支援事業でカルチャーセンターの備品を整備してもらっているが、センター内の図書スペースに椅子を置いてもらい、お茶を飲むなどの休憩場所として活用できないかというような話が出ている。人を集めるとなると使いやすいように整備する必要がある。また、センター内の調理室のガス台も古いと思うので、入れ替えも考えなくてはいけない。

そして、カルチャーセンターの体育館の横に倉庫があるが、そこにいろいろな備品を保管している。だが、上越市のPTA連絡協議会の所持品や有田地区の団体の所持品が混在してしまっているため、それぞれ備品台帳を作成してきちんと備品管理していかないといけない。

【滝澤センター長】

当事業が始まった当初は市の執行事業の提案も受け付けており、公の施設への備品整備にも使っていたが、平成26年度から市の執行事業がなくなり、公の施設の備品整備等は対象外となっている。だが、委員がおっしゃるように地域の人達が集まる場所として必要なものが整備されておらず、皆さんで活動したいが、その事が弊害になってしまっているということもある。

地域のコミュニティとして住民が集まる場所をどのように整備していけば良いのか、課題である。

【熊木会長】

他に意見等がないようなので、本日配布された資料を読んでいただき、次回以降の採択方針等を決める際にいろいろな意見を出していただきたい。

次に「その他」について、事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

- ・次回協議会の事務局案を説明

【熊木会長】

- ・次回協議会：1月29日（月）午後1時30分から

自主的審議事項として進めている小猿屋小学校の跡地利用についてだが、今後、町内会長協議会で市教育委員会との意見交換の場を設けたいと考えている。委員で検討メンバーになっている方は御承知おきいただきたい。

【高橋秀樹委員】

小猿屋小学校の跡地の件は、委員の皆さんで考えている段階だが、春日新田小学校も統合に伴い人数が減るので春日新田小学校のほうも考えていかないといけないと思っている。

【中川委員】

元春日新田小学校校長からも教育委員会へ話をしたようだが、あまり話が前に進んでいないとのことである。

【高橋秀樹委員】

どうしても新設校に目が向いてしまうが、春日新田小学校のこともきちんと考えていかないと中途半端な状態で進んでいってしまう。

【熊木会長】

高橋秀樹委員の意見は市教育委員会との意見交換の場でも出てくると思う。平成30年度の開校と同時に春日新田小学校の一部取り壊しも早々に始まると思われるので、春日新田小学校の部会内で要望することは確かである。

地域協議会としてもいろいろな形でバックアップしていきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。